

【特別展】 没後25年記念

東山魁夷と日本の夏

Special 25th Memorial Exhibition: Higashiyama Kaii and Summer in Japan

2024年7月20日(土)~9月23日(月・振休)

主催：山種美術館、日本経済新聞社、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁



東山魁夷《満ち来る潮》1970(昭和45)年 紙本・彩色 山種美術館 [画像請求 No. ⑤]

四季を通じて自然との対話を重ね、さまざまな風景を描いた東山魁夷(1908-1999)。海山の自然から古都の町並みにいたるまで、詩情豊かに表された作品は、没後四半世紀を経た今も人々から愛されています。このたび山種美術館では、所蔵する魁夷の作品を全点公開し、季節感にあふれた風景画をご紹介します。さらに、浮世絵から近代・現代日本画にいたる夏をテーマにした名品や、涼しさの感じられる優品を選びすぎり、ご紹介する特別展を開催します。

なかでも注目すべきは、普遍的な日本の海のイメージと伝統的な日本絵画の装飾性が融合した幅9メートル超の大作《満ち来る潮》。皇居新宮殿にある魁夷の代表作と同趣作品を、当館初代館長(山崎種二)が画家に制作を依頼した逸品です。また、作家・川端康成の言葉を契機に、魁夷が京都の風情と季節のうつろいを格調高く描いた連作「京洛四季」(《年暮る》含む4点)も見どころの一つです。

本展では、白波の立つダイナミックな海原を表現した《満ち来る潮》を筆頭に、日本の海と銀色の月を描いた横山大観の《夏の海》、青い浴衣姿の女性の一瞬のたたずまいを捉えた上村松園の《蛭》など、目にも涼やかな作品を取り揃えています。東山魁夷の風景画と日本の夏を描いた優品を通じ、爽やかなひと時を過ごしていただければ幸いです。

*所蔵表記のない作品はすべて山種美術館所蔵です。



歌川広重《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》
1857(安政4)年 大判錦絵 山種美術館
[画像請求 No. ⑥] (8/20-9/23 展示)



横山大観《夏の海》
1952(昭和27)年頃
紙本・彩色 山種美術館
[画像請求 No. ⑦]



川合玉堂《早乙女》
1945(昭和20)年
絹本・彩色 山種美術館
[画像請求 No. ⑧]



上村松園《蛭》
1913(大正2)年
絹本・彩色 山種美術館
[画像請求 No. ⑨]

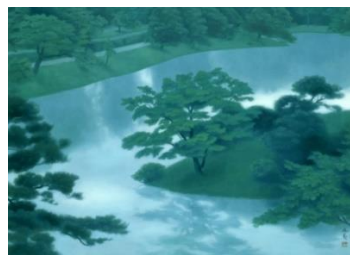
本展のみどころ

みどころ① 東山魁夷の《満ち来る潮》、「京洛四季」の連作 4 点など名品が勢ぞろい!

東山魁夷の大作《満ち来る潮》と下絵、《年暮る》を含む京都の四季を描いた「京洛四季」など、当館の魁夷コレクション全点を一挙公開するのは 10 年ぶり。ぜひ、この機会をお見逃しなく!



《春静》1968(昭和 43)年
[画像請求 No. ①]



《緑潤う》1976(昭和 51)年
[画像請求 No. ②]



《秋彩》1986(昭和 61)年
[画像請求 No. ③]



《年暮る》1968(昭和 43)年
[画像請求 No. ④]

いずれも東山魁夷筆、紙本・彩色、山種美術館蔵。



葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》
1830(文政 13)年頃 大判錦絵
山種美術館 (7/20~8/18 展示)

みどころ② 浮世絵から近代・現代日本画まで、夏を描いた優品が大集合!

葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》、歌川広重《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》をはじめとする浮世絵から、横山大観、奥村土牛などの名作まで、幅広い作品を通じて日本の夏ならではの風情をご堪能下さい。

みどころ③ 快適な美術館で心と体に涼しさを!

目にも涼やかな《満ち来る潮》、《夏の海》のほか、日本の暑い夏に涼を取る人々を描いた上村松園や小林古径などの名品もご紹介。また、美術館内は作品保護のため、温度・湿度が一定に保たれています。作品にも人にも快適な環境で、爽やかな時間をお過ごしください。

奥村土牛《水蓮》1955(昭和 30)年
絹本・彩色 山種美術館 [画像請求 No. ⑩]



■ 展覧会名: 【特別展】 没後25年記念 東山魁夷と日本の夏

■ 会 期: 2024年7月20日(土)~9月23日(月・振休)

■ 休 館 日: 月曜日[8/12(月・振休)、9/16(月・祝)、9/23(月・振休)は開館、8/13(火)、9/17(火)は休館]

■ 開館時間: 午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで) ※今後の状況により会期・開館時間等は変更する場合がございます。

■ 入 館 料: 一般1400円(1200円)、**夏の学割** 大学生・高校生500円、中学生以下無料(付添者の同伴が必要です)
※障がい者手帳、被爆者健康手帳をご提示の方、およびその介助者(1名)は1200円(1000円) ※()内は前売料金
きもの特典 きもの・ゆかたでご来館のお客様は、一般200円引きの料金となります。 ※複数の割引・特典の併用はできません。
入館日時のオンライン予約も可能です(詳細は当館 Web サイトをご覧ください)。

■ 主な出品作品(予定): 約60点 ※所蔵表記のない作品はすべて山種美術館蔵。




東山魁夷:《白い壁》、《白い嶺》、《月出づ》、《春来る丘》、《春静》、《緑潤う》、《秋彩》、《年暮る》、《満ち来る潮》

葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》(7/20-8/18 展示)、歌川広重《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》(8/20-9/23 展示)、横山大観《夏の海》、川合玉堂《早乙女》、上村松園《蛭》、池田輝方《夕立》、奥村土牛《水蓮》、加藤栄三《流離の灯》 ほか

■ 会 場: 山種美術館 (〒150-0012 東京都渋谷区広尾3-12-36)

■ 問い合わせ: 050-5541-8600(ハローダイヤル) 電話受付時間: 9:00~20:00

■ 公式 HP: <https://www.yamatane-museum.jp/>

■ 公式 SNS:   

※ 出品作品および展示期間は都合により変更される場合があります。※ 本展周知目的でない画像の利用や転載はお断りします。

※ 本展周知で作品画像等の使用を希望される場合は、別途広報素材一覧をご参照いただくか、下記までお問い合わせください。

報道関係の方からの
本件に関する
お問合せ先

山種美術館広報事務局(ユース・プランニング センター内) / 担当: 片山、平野、池袋
〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町 9-8 KN 渋谷 3 ビル 4F

TEL: 03-6821-8547 FAX: 03-6821-8869 E-mail: yamatane-pr@ypcpr.com